

社会保障制度の課題と生協の新たな可能性 ～ 暮らしやすい地域づくりを目指して～

日本では深刻な少子高齢化と地方からの若年人口流出、さらに単独世帯の増加が急速に進んでおり、地域間の格差は拡大している。生活する上で何らかのサポートを必要とする人々の暮らしの支え方は多様化し、生協に求められる役割も大きく変容している。

いわゆる「社会保障改革プログラム法」成立を受け、2015年から社会保障制度は大きく変化する。四つ葉のクローバーと言われる年金・介護・医療・子育て保障の新しい方向が国民に明示された。厳しい財政状況の下、地域力が一層問われる介護領域などでは、市民が自治体と連携して制度を活用することが、より必要となろう。生協がこれまで以上に市民と協力し合い、地域社会に貢献できる好機とみることもできる。

そこで今回の研究集会では、社会保障制度の基本的な論点と2015年の変化を学識者に解説していただき、生協に求められる役割を検討する。その上で、年金制度以外の介護・医療・子育ての分野で、地域づくりに生協が役立っている事例を紹介する。暮らしやすい地域を具現化するための活動・事業のヒントを、参加者とともに学ぶ機会としたい。

日時：2014年9月27日（土）10：00～16：05

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー2階 1021教室

（東京都千代田区神田駿河台1-1 於 御茶ノ水駅、新御茶ノ水駅、神保町駅）

■ プログラム

10：00～10：10 **開会挨拶** 生源寺 眞一（生協総合研究所 理事長、名古屋大学大学院 教授）

10：10～10：30 「協同組合は社会政策にどう向き合うのか」
中川 雄一郎（明治大学 教授）

10：30～11：30 「日本の社会保障制度の概要、変化と問題点」
駒村 康平（慶應義塾大学 教授）

11：30～12：20 「行政と非営利組織による地域サポートの現状と課題」
前田 正子（甲南大学 教授）

■ 昼食休憩（リバティータワー17階）

13：10～13：50 「地域づくりの作法 千葉県中核支援センターはどのように作られたか」
渋沢 茂（長生ひなた 所長）

13：50～14：50 【事例報告】

① 行政、医師会等の他団体との連携を大切にして、誰もが安心して暮らし続ける街づくりをめざす
杉岡 眞由美（姫路医療生活協同組合 ケアマネ統括責任者・法人理事）

② 福祉サービスの複合化と行政連携について

島田 朋子（生活クラブ風の村 エリアマネジャー・風の村いなげ 施設長）

③ 子育て分野の生協の可能性 渡辺 寧（コープみらい千葉県本部）

■ 休 憩

15：00～16：00 パネルディスカッション

16：00～16：05 閉会挨拶 芳賀 唯史（生協総合研究所 専務理事）

16：15～17：15 懇親会（リバティータワー17階）

駒村 康平（慶應義塾大学経済学部 教授）

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学・経済学博士。国立社会保障・人口問題研究所研究員などをへて2007年4月より現職。

著書に『年金と家計の経済分析』（東洋経済新報社）、『先進諸国の社会保障 イギリス』、『先進諸国の社会保障 スウェーデン』（東京大学出版会）、『福祉の総合政策』（創成社）、『年金はどうか』岩波書店、『最低所得保障』岩波書店など。

主な公職 厚生労働省顧問（2009年～2012年）、社会保障審議会委員〔生活保護基準部会、障害者部会、年金部会、年金数理部会〕（2010年～）、社会保障制度改革国民会議委員（2012年～2013年）

前田 正子（甲南大学マネジメント創造学部 教授）

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了・商学博士。2003年～2007年まで横浜市副市長。こども青少年局を開設。2007年～2010年まで横浜市国際交流協会理事長。在住外国人への通訳事業や、外国人児童の学習支援事業を拡充。2010年より現職。

主著に『みんなでつくる子ども・子育て支援新制度』ミネルヴァ書房、『福祉が今できること——横浜市副市長の経験から』岩波書店、『子育てしやすい社会——保育・家庭・職場を巡る育児支援』ミネルヴァ書房、『子育ては、いま——変わる保育園、これからの子育て支援』岩波書店

渋沢 茂（千葉県中核地域生活支援センター長生ひなた 所長）

千葉県では、横断的な施策展開を図る健康福祉千葉方式を推進してきた。その一環として、生活サポートの総合的コーディネート、福祉の総合相談、権利擁護等の機能を併せもち、24時間365日体制で行う「中核地域生活支援センター」を設置している。「長生ひなた」は茂原市と周辺地域で援助を必要とするあらゆる人々とその家族が、生き生きと安心して暮らせる地域づくりを目指している。渋沢氏は「長生ひなた」設立時にNPO法人長生・夷隅地域のくらしを支える会を立ち上げた1人である。

杉岡 眞由美（姫路医療生活協同組合 ケアマネ統括責任者・法人理事）

法人法令遵守責任者、居宅介護支援事業所統括責任者、兵庫県介護支援専門員協会 理事・姫路支部部長。現在人口54万人の中核都市である姫路市で、姫路医療生協は1974年に「人と人との支えあいで、すこやかに生きる」を理念に設立。翌1975年に共立診療所を開設した。当初組合員2000人、職員数7人。1983年に共立病院を開設。1997年より訪問看護ステーション デイケアを開設し、訪問診療などの在宅ケアへシフトする。現在56床の病院、診療所、歯科診療所と38の介護保険事業所があり、職員818名、組合員数2万1411名。「その人らしく、気持ちよく生きる」をスローガンに地域ニーズに応え、サービスの資質向上と黒字経営を両輪と考えている。

島田 朋子（生活クラブ風の村 エリアマネジャー・風の村いなげ 施設長）

1994年、生活クラブ生協（現・生活クラブ虹の街）で、全国の地域生協として始めて介護事業を開始した社会福祉法人。「あなたの尊厳を守ります」をキーワードに、千葉県内で、高齢者、障がい者、子ども、ユニバーサル就労を中心とした福祉・医療分野の事業を推進している。島田氏は、ケアワーカーを経て訪問介護事業所「すくらむ」（千葉市）所長。2007年に「特養ホーム八街」へ異動、施設長に就任。2012年11月より現職。介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士。

渡辺 寧（生活協同組合コープみらい千葉県本部 参加とネットワーク推進室）

コープみらいでは、早くから子ども・子育て支援に取り組んできた。行政からの委託事業で地域子育て支援拠点ひろば型事業を常設しているほか、組合員活動で子育てひろばも各地で開催するなど、地域に根ざした子育て支援を展開している。今回社会保障制度改革で注目される以前から、渡辺氏は千葉県内で、千葉市、市川市、館山市などと連携するなど、長らく子ども子育て支援に関わり地域ニーズを実現してきた。

■ 研究集会参加費（資料代、および17階食堂での弁当・昼食券込み）

昼食は以下のどちらかをお選びください。

- ① 弁当（予約制です。並ぶ時間を短縮するために用意しました）
- ② 食券（当日、麺類などを選べます）

A. 生協総合研究所の会員（団体会員の役職員を含む）	4,000 円
B. 一般（生協総合研究所の会員でない方）	8,000 円
C. 学生、大学院生	1,000 円

■ 懇親会(16:15~17:15 17階・会場)

終了後の情報交換の場として、どうぞご活用ください。軽い食べものと飲みものをお出しします。なお参加される方は、懇親会費として一律1人1,000円をお願い致します。準備の都合上、締切までにお申し込みください。

■ 申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入してお送りください。

同時に参加費用の振込みをお願いします（振込手数料は各自でご負担ください）。

振込口座

口座名：生協総合研究所（ザイ）セイキョウソウゴウケンキュウシヨ
中央労働金庫 本店営業部（普通）5187368
三菱東京UFJ銀行 麹町支店（普通）5077447
郵便振替 00110-9-535484

■ 申込締切

2014年9月22日（月） 先着250名

■ キャンセル料金

キャンセルの場合は、下記の料金がかかります。連絡なしに欠席された場合も請求させていただきますので、お早めに連絡いただくか、代理の方の参加をお願いします。

開催日前々日（9月25日）まで…………… 無料

開催日前日・当日（9月26・27日）…………… [参加費]の全額

■ お問い合わせ

公益財団法人 生協総合研究所 中村・遠藤・茂木

TEL: 03-5216-6025 FAX: 03-5216-6030 E-mail: ccij@jccu.coop

■ お申し込み

- ① 次ページの書式にご記入いただき、FAXでご送付下さい。
- ② E-mail: ccij@jccu.coop へ次ページの様式に準じてご記入し、お申し込み下さい。
- ③ 郵送: 〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 プラザエフ6階
公益財団法人 生協総合研究所

生協総合研究所 第24回全国研究集会参加申込書 (参加受付書を兼ねています)

申込日 2014年 月 日

所属団体名					
担当部署		フリガナ 担当者名			
住 所	〒				
TEL		FAX			
E-mail					
参加者氏名	役職名・所属名	参加申込内容 (下記3つに○をつけ、費用をご記入下さい)			
		参加者区分	昼食	懇親会	参加費+懇親会費
		A B C	弁当 食券	参 加 不参加	円
		A B C	弁当 食券	参 加 不参加	円
		A B C	弁当 食券	参 加 不参加	円
		A B C	弁当 食券	参 加 不参加	円
		A B C	弁当 食券	参 加 不参加	円
参加者合計	名				円

参加者区分と参加費 A : 生協総合研究所会員 (団体会員の役職員を含む) 4,000 円
 B : 一般 (生協総合研究所会員以外の方) 8,000 円
 C : 学生、大学院生 1,000 円
 懇親会参加費 (16 : 15~17 : 15) 1,000 円

9月22日(月)までにお申し込みください。受付後5日以内にFAX、E-mail、郵送のいずれかにて参加受付書を返送しますので、必要事項のご記入漏れがないようお願い致します。

【事務局使用欄】 2014年 月 日 参加を受付いたしました。担当_____